

## 編集後記

大学史に限らず、史資料を収集するためには根気強さが必要である。古書店のカタログやインターネットなどを小まめにチェックするという地道な作業を通じて、年間数件ではあるが貴重な資料に巡り合うことができる。また、人との繋がりを積極的に広げることも大切である。資料館を訪問したとき、また展示開催の際に関係者や入場者の方々に声をかけることによって、新たな資料が発見されることもある。

今回、『専修大学史紀要 第3号』を手に取りられ、本学の歴史にかかわる情報をお寄せいただくことができれば、この上ない喜びである。

(大学史資料課長 岩崎俊彦)